

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

○「開かれた学校づくり」をめざします

「学校づくりビジョン」の実現に向けた学校運営及び学校教育活動の充実について、様々な視点からの意見や考えを交流しあいながら、地域コミュニティづくりを推進します。

○教育活動は学校評価を基点にします

学校関係者評価をより充実させ改善に努め、保護者や地域の方々の想いや願いを反映した学校づくりを推進します。

○「地域とともにある学校」の推進を図ります

学習支援をはじめとして、さまざまな教育活動に保護者や地域の方との活動を継続・発展させます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

本校では、以下の取組を今までも実施してきました。

○地域の皆さんから学び、学習意欲と実生活に役立つ取組

- ・全校児童による芋づくり ・3年社会科地域学習和無田池見学
- ・1年人権学習

○学習支援と子どもたちの安全・安心を守るための学習環境の整備や防災の取組

- ・図書ボランティアによる朝の読み聞かせ活動 ・クラブ支援員による指導
- ・着衣泳指導 ・PTAあいさつ運動 ・PTA親子除草
- ・小山田消防団による防災学習や支援

○学校・地域が協働した取組

- ・芋煮会 ・地区文化祭 ・獅子舞

今年度から四日市版コミュニティスクールの指定を受けたことによって、運営協議会委員会で「小山田地区の教育力を生かした特色ある教育活動」について学校側の要望や保護者・地域住民の意見を出し合い、次のような取組を実践することができました。

【5年生社会科・総合的な学習の時間 稲作づくり】



- ・運営協議会委員会での委員からの意見をもとに、J A小山田職員等の指導や支援のおかげで、小学校校地内の花壇を田んぼにしました。田植えから稲刈り、精米作業、芋ご飯づくりまで、運営協議会委員やJ A小山田職員の方にご指導ご支援をいただきました。

【芋煮会にむけた全校児童の取組】

○さつま芋づくり



- ・芋煮会用に4月から芋畑の整備を支援していただいたり、畝づくり・芋苗の植え方指導・芋ほり支援等子どもたちに関わっていただいたりしました。そのおかげで、今年は大豊作となりました。

○芋煮会（学習発表の部・芋煮の部）

〈学習発表の部〉

4年生以上児童の祖父母や地域学校関係者と、今年から老人会の方も招待して開催しました。芋コンテストや各学年の学習発表を見ていただきました。



〈芋煮の部〉

P T Aの方々に収穫したサツマイモを使って芋煮を作ってくださいました。各教室では縦割り班で楽しく会食したり、ゲームをしたり、招待した方々へのお礼の手紙をお渡ししたりしました。



【小山田老人会と協働した教育活動】

○運動会 1・2年生との玉入れ競技



・今年度から1・2年生児童と小山田地区老人会の方々によるコミュニティ種目「紅白玉入れ」を行いました。当日は老人会の方だけでなく、運営協議会委員の方も参加していただき、子どもたち以上に玉入れ競技を楽しんでいただく姿や、子どもたちのがんばりに大きな声援をかけ続けていただく姿が見られました。

○しめ縄づくり



・3年生と5年生を対象に、「しめ縄づくり」を行いました。小山田地区でしめ縄づくりを行っている方に講師として来ていただき、老人会の方々や運営協議会委員に支援していただきました。子どもたちは慣れない作業に大苦戦していましたが、地域の伝統産業を地域の方から直接学ぶことや地域の方々と触れ合うことができました。

○昔の遊び体験1・2年



・地域連携学習として地区老人会の方をお招きして、体育館で行いました子どもたちはグループに分かれ、「けん玉・コマ・めんこ」「あやとり・お手玉」「竹とんぼ」のコーナーを回り、老人会の方たちに教えてもらいながら昔の遊びを体験しました。子どもたちも老人会の方々もみんな笑顔で交流した楽しいひと時となりました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

○年度当初から学校側が地域学習教材として必要な人材や地域資源についての要望をまとめておいたり、運営協議会委員が自分のできることや地域・保護者の願いを聞き取り、学校側へ伝えてくださったりしたことで、学校教職員一人ひとりや運営協議会委員の学校運営への参画の意識が高まりました。



○今年度は、小山田地区老人会との交流を運営協議会委員の発案により実施することができました。小山田地区の子どもたちの数や人口が減っている中で、老人会の方々の「学校のために役に立ちたい」「子どもたちと一緒に過ごすことで自分たちももっと元気になりたい」との想いを聴き、(1)の教育活動を計画し実施することができました。

3 今後に向けて

○今年度から始めた活動を来年度も継続していきます。

○今まで実施されてきた取組と今年度から始めた活動、さらに来年度も新たに取り組む活動について、子どもたちの成長段階に合わせたカリキュラムマネジメントを実施し、「社会に開かれた教育課程」となるよう、改善に取り組めます。

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立小山田小学校

委員長 片岡 洋将

校長 三谷 耕介

月	協議会の開催	活動内容
4	第1回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会でCS委員紹介 ・委嘱状交付、組織確立 ・学校づくりビジョン承認 ・地域に関わる学習活動について検討
5		○5年生「稲作」田植え指導
6	第2回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年授業参観 ・全校児童にCS委員紹介 ・年間活動計画等検討
7		○6年生「着衣泳」(体育科等)指導
8		
9		<ul style="list-style-type: none"> ○5年生「稲作」稲刈り指導 ○運動会参観 老人会と低学年との競技に参加 ○5年生「稲作」もみすり指導
10	第3回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○全校さつまいも収穫支援 ・学習発表会参観 ・芋煮会参加 ・しめ縄づくりについて検討 ・全国学力・学習状況調査結果報告 ・運営協議会からの助言及び意見交換
11		○3・5年「しめ縄づくり」参観及び支援
12		○低学年「むかしのあそび」(生活科体験学習)
1		
2	第4回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生を送る会参観 ・学校関係者評価をもとに、教育活動の成果と課題を探る ・次年度の展望
3		